

**「自分の命は自分で守る。
自助・共助で生き抜く。」**

平成31年2月23日

2018年度防災教育チャレンジプラン活動報告会

**新居浜市消防本部
高橋直樹**

新居浜市金栄校区で発生した平成16年災害



御茶屋谷川



御茶屋谷川



金栄公民館



金栄小学校



尻無川・政枝小橋



東川・滝の宮遊歩道

新居浜市立金栄小学校

プラン名	自分の命は自分で守る。自助、共助で生き抜く。
所在地	愛媛県新居浜市
対象災害	南海トラフ巨大地震・土砂災害、台風による浸水被害など
グループの概要	【目的】 1 平成16年に新居浜市金栄校区で発生した台風災害による被害体験を次世代に継承させ、平成16年災害を風化させない。 2 自分の命を守り、自助共助で生き抜くことを身に着ける。 3 自然災害が発生した際に備え、「命を守る防災」について知識の習得を図る。 【特徴】 1 自然災害から得た教訓をもとに小学生の防災力の向上を図り、命の大切さを学ぶ。 2 地域の危険箇所等を防災マップなどに反映し、地域で情報共有を図る。
活動概要	金栄小学校では、5年生が1年間を通じ、防災教育の取組を実施しております。防災教育では、平成16年に発生した台風による土砂災害などによって発生した甚大な被害も過去の災害になりつつあり、小学生たちも自分たちの町で大変な災害があったことを知りません。この災害を後世に伝え、災害が発生した際にも、自分の命は自分で守る、自助、共助で生き抜く力をつけなければなりません。このことから、自治会、地域見守り隊などの関係機関とまちあるきを行い、e防災マップなどの作成、3世代交流防災体験イベントなどにも取り組んでおります。地震及び土砂災害などから被害を出さないためにも、地域の防災力の向上を図ることを目的として防災活動を行っています。



地域の災害を学ぶ



まちあるき記念撮影



e防災マップ入力



防災まちあるき



まちあるき結果整理



避難訓練



要支援者搬送体験

金栄小学校 プランの概要

- 1 豪雨災害の被災経験から得た教訓をもとに小学生の防災力の向上を図り、命の大切さを学び、今後の防災活動に展開させる。
- 2 地域の危険箇所などをe防災マップなどに反映し、地域で情報共有を図る。
- 3 松山地方気象台などの専門化を講師に招き、気象に関する情報、知識を習得するなど防災への関心を持たせる。

☆自分の命を守り、共に助け合い、生き抜くために大切なこと学ぶ。

金栄小学校実施プログラム

月 日	実 施 プ ロ グ ラ ム
平成30年9月11日	過去の災害について
平成30年9月25日	防災講演会～愛媛の気象と防災情報～
平成30年10月2日	防災力を高める
平成30年10月9日・19日	防災マップについて
平成30年10月22日	防災まちあるき
平成30年10月28日	校区防災訓練
平成30年11月5日	防災まちあるき取りまとめ
平成30年11月21日	防災まちあるき取りまとめ
平成30年11月30日	防災マップ及び防災カード作成
平成30年12月19日	防災マップ及び防災カード作成
平成31年1月15日	防災マップ及び防災カード作成
平成31年1月18日	校内防災教育発表会準備
平成31年1月21日	校内防災教育発表会準備
平成31年1月22日	校内防災教育発表会準備
平成31年1月24日	校内防災教育発表会準備
平成31年1月25日	防災教育発表会【参観日】
平成31年2月以降	防災教育成果まとめ

1) 58 無新① 自由党事務
長(沖縄市議、衆④)うるま
市、社会福祉専門学校 ※本
名は玉城 康裕

「し」が量例分...
浸透せず、私の力不足だ」
と敗北宣言した。

の後継であることを強言し
て「吊い合戦」を演出。移

台風24号

県内大雨 新居浜375ミ

浸水被害 交通に乱れ

非常に強い台風24号は30日、県内に最接近した。松山地方気象台は午後7時9分、レーダーなどによる解析雨量が1時間当たり約100ミに達したとして新居浜市に記録的短時間大雨情報を発令。午後8時台までの24時間降水量は新居浜が375・0ミ、西条が328・5ミで観測史上最大を記録した。午後8時現在、

最大風速が県内で最も強かったのは松山南吉田21・5ミで、久万高原町久万は13・9ミで観測史上最大を観測した。(5面に関連記事)

鹿森ダム(新居浜市)と新宮ダム(四国中央市)は流入量と同量の水を放流する異常洪水時防災操作を一時、検討した。

愛媛新聞の取材では、西予市の県道宇和野村線が土

砂崩れで通行止めになった。1日朝までには解除の見通し。大洲市の県道串内子線は路肩崩落で通行止めに。強風の影響で愛南町の農家のビニールハウス1棟と民家のベランダが倒壊。八幡浜市では倉庫が倒壊し、県道を一時ふさいだ。四国中央市や砥部町、久万高原町で計5世帯が床上・床下浸水(30日午後8時現

向き」と言及する現職の中村時広氏(58)は、9月定例県議会閉会後、正式に表明をするつもりで、2期目を終える中村県政に審判を下す選挙戦になる。

政財界から幅広く後押し

では、出馬要請や推薦を決める会合で退席する県議が出るなど紆余(うよ)曲折があった自民党県連。今回も3月の定期大会で正式に出馬要請をする前から、県議会会派自民党から分裂し

援に回る見通しだ。9月定例県議会の代表・一般質問では、共産党以外の会派から待望論が出たが、中村氏は公約ができていないのを理由に明言は避けた。対する和田氏は、

9月22

大財界支寺 出馬前

台風で増水した新居浜市の東川の金栄橋付近 30日午後



新所通5宅金ではど警員号のうんら情は35市すら報つ

防災まちあるきを通じて自分の住んでいるまちを知る

地域の危険個所、災害時に役に立つ施設などを調査するとともに平成16年豪雨災害の被災者に被災体験を聞く。



- 1 まちあるきにおいて、避難経路、避難所、災害時に有効な場所・施設、災害に関連した地域特性を学んだ。
- 2 平成16年豪雨災害で被災した箇所など、実際に自分たちの目で確認することができた。
- 3 地域の住民とまちあるきを行うことにより、平時から顔の見える関係づくりを行う。

体で体験し、身を守る知識・技術を身に付ける

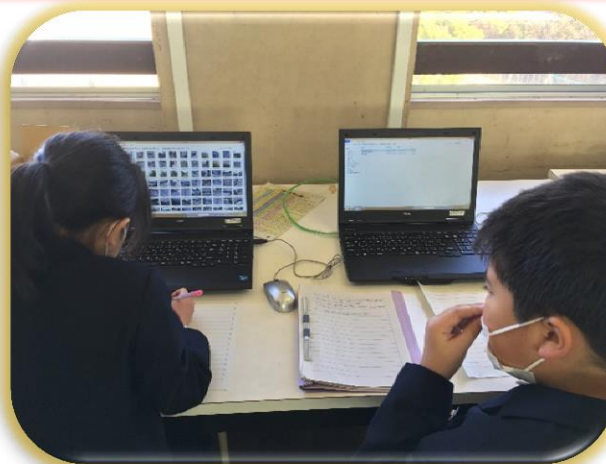
地震体験、初期消火、煙体験などの体験及び訓練を実施し、災害時に的確に対応できる知識及び技術の習得が目的。



- 1 訓練開始の緊急地震速報に併せて防災頭巾をかぶり、身を守る行動を取り、地震が収まったこと確認後、体育館へ移動、人員点呼を行う。地域住民も自宅から徒歩にて、避難所である金栄小学校へ移動する。
- 2 参加全員にて各種訓練を行い、知識及び技術の習得を図る。

防災マップ・防災カードから地域へ情報発信

防災まちあるきで調査した結果を取りまとめ、防災マップ・防災カードを作成し、成果物を通じて地域に危険個所などを情報発信する。



中村松木・滝の宮・横水地区班

滝の宮公園入り口近く場所

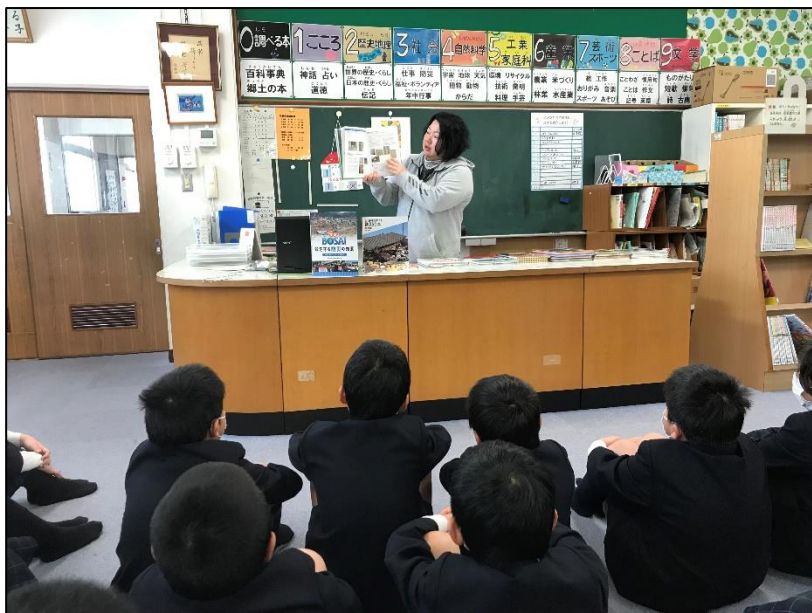


災害時の防止

- 上の写真のように山の斜面はネットでおおわれている
- 人がたくさん通る道は強くともめないとけない
- 次に崩れると直しにくくなる
- もし、あみ目がおおきければ小さな石がおちて危ない

- 1 個人で作成した防災カードを取りまとめ、印刷して冊子として、成果品として結果が残せた。
- 2 グループ作成した手作り防災マップに、危険個所などの様々な情報を掲載し、情報共有することができた。
- 3 毎年、メインテーマを変更することにより、様々な成果品を作成することができた。

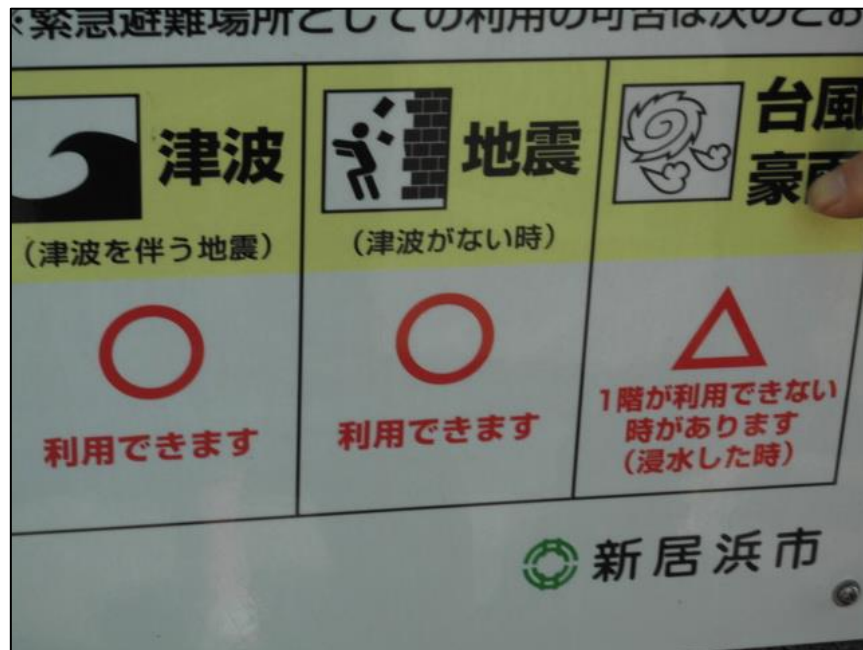
防災ブックトーク ～本から学ぶ防災～



防災発表会 ～1年間学んだ防災教育を保護者・仲間に発信～



防災カード ～高木地区1班 場所:金栄公民館～



・災害時に役立つもの

- 1 金栄公民館は避難所であり、津波や地震のときに利用できるかどうかなどが書かれています。
- 2 見たとおり津波と地震のときは利用できるけど、台風・豪雨の時は、1階は利用出来ない場合があります。
- 3 避難所看板は、金栄公民館が被害別に利用できるかわかるのでとても便利です。

防災マップ ～高木・庄内・久保田地区～



金栄小学校の防災教育取り組み成果

- ▶ 毎年、メインテーマを変え防災教育を継続することにより、児童、保護者、地域住民が防災に関心を持つことができてた。
- ▶ 自治会、公民館、社会福祉協議会、見守り隊など学校との関係を持つ方々と取り組むことにより、顔の見える関係づくりができ、災害時に共に助ける絆ができた。
- ▶ 防災マップ・防災カードについては、より実践的な資料として取りまとめ、継承することができた。
- ▶ 金栄小学校の取り組み状況が、複数小学校へと波及し、全市的に防災力の向上につながっている。

今後の防災活動の展開

地域と学校などが協働し、防災訓練、まちあるきを通じた防災学習、防災マップ作りなどに取り組み、災害に強いまちづくりを目指す



防災まちあるきの様子



防災資機材見学

防災活動の展開

- ・地域、学校などが中心となり、実践的な防災訓練の実施
- ・地域の防災の弱点を探して、防災マップ・防災カードを作成するめに、連合自治会等と連携したまちあるきの実施
- ・地域で起こりうる災害及び西日本豪雨災害教訓から、災害発生時の対応、自助、共助による必要性などについて継続的な防災教育を実施
- ・新たなテーマに基づき、防災教育を展開させ、防災力の向上を図る。

